

主催事業

5月 総会

9月 敬老祝賀会

10月 いなだ周遊ハイキング

11月 県内研修会

1月 一人暮らし高齢者訪問

2月 学習会

み か げ

笠間市社会福祉協議会



稲 田 支 部

第25号

令和7年12月25日発行

発 行 笠間市社協稲田支部
 支部長 鈴木 隆
 編 集 稲田支部広報委員会
 印 刷 大塩企画



駐車場誘導



主催者挨拶



式典出席者



受付風景

敬老祝賀会盛大に開催される

9月14日(日)、稲田地区敬老祝賀会が地域交流センターいなだで開催されました。

当日は来賓の高野裕一稲田小校長、山口正秀稲田中教頭、足立登地域交流センター長のご臨席のもと、108人の多くの方のご出席を頂き盛大にお祝いができました。各地区区長様をはじめ実行委員、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

今年度の稲田地区の75歳以上の対象者は、498人でした。おめでとうございます。笠間市全体では、14,338人で、100歳以上の方は31人だそうです。だれもがいつかは通る道、一人一人が元気で自分らしく、生き生きと年齢を重ね、心豊かに過ごされることを願ってやみません。

式典は10時開式で、鈴木隆実行委員長の主催者挨拶、来賓祝辞の後、稲田小3年生の稲野邊陽菜子さんと喜屋武李胡さんよりお祝いのメッセージ朗読がありました。二人が紹介されると、会場からは思わず「かわいい」の声が上がりました。

(次ページに続く)

楽しかったミニデイ「夏まつり」!



紙芝居「金色夜叉」

社協ミニデイの「夏まつり」が、7月17日(木)地域交流センターで行われました。参加者は、利用者15人、ボランティア16人でした。アトラクションの最初は岡野恵さんによる「金色夜叉」の紙芝居です。波の小道具や効果音、要所の掛け声もあり、皆さん物語に引き込まれ、熱心に聞いていました。



石切音頭

大いに盛り上がりました。そして梅原智恵子さんによる南京玉すだれです。すのこを使って変幻自在に繰り出す浦島太郎の釣竿や富士山、しだれ柳、東京タワーなどの妙技に感心しきりでした。最後は保存会による石切音頭の披露です。利用者2人の飛び入り参加もありました。座席では手踊りをする利用者の姿も見られました。



ガマの油売口上

二人からは「おじいちゃん、おばあちゃんが好き。かわいがってくれてありがとう。皆さんも健康に気をつけて長生きしてください」と発表がありました。その後、大谷四郎様より敬老者代表謝辞と誤嚥性肺炎の予防についての講話を頂きました。



敬老者代表謝辞

(前ページより)



腹話術

アトラクションは、地元の竹田輝さんによるガマの油売口上、梅原智恵子さんによる腹話術と南京玉すだれ、そして最後にビンゴ大会でした。ガマの油売の迫力と熱演、会場を巻き込んでの腹話術、変幻自在の玉すだれの妙技に会場は大いに盛り上がりました。ハラハラドキドキのビンゴ大会では、

ボランティアみかげのサポートもあり、楽しく和やかな時間を過ごすことができました。帰りは豪華な弁当と紅白まんじゅうを手に、皆さん満足して帰って行きました。来年の祝賀会でもまた元氣でお会いできますように。

新支部長に鈴木隆氏就任！

令和7年度社協稲田支部総会が、運営委員28名の出席のもと、5月11日（日）午前10時から地域交流センターで開催されました。

今年度は役員改選の年で、支部長に鈴木隆氏、副支部長に稲野邊耕一氏、潮田浩氏、会計に湯浅修氏が選出・承認され、令和7年度の社協稲田支部がスタートしました。詳しくは、次の一覧表をご覧ください。

ご挨拶

支部長・鈴木 隆



このたび、社会福祉協議会稲田支部の支部長を務めさせて頂くことになりました鈴木隆でございます。

地域の皆様とともに、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進め

ていけたらと思っております。

私自身、これまで地域の様々な行事や活動を通して、多くの方々に支えられてきました。その恩返し of 気持ちも込めて、できるところから一つひとつ取り組んでまいります。

稲田地区は、温かい人のつながりがある素晴らしい地域です。これから、高齢の方々から子供たちまで、みんなが笑顔で過ごせるような活動を、役員や関係の皆さんと力を合わせて続けていきたいと思っています。

まだまだ勉強中の身ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。皆様のご意見やご協力を頂きながら、一緒によりよい地域をつくっていきましょう。

新支部長への一問一答は次の通り
Q 支部長として心がけていることはどんなことですか？

人を楽しませるとともに、自分も楽しむことです。

Q 活動のご苦労はありますか？

社協の業務内容を理解して実行することと、人の名前・顔を覚えることです。

Q よかった、うれしかったと感じる時はどんな時ですか？

多くの人に出会え交流を深められた時、今まで知らなかった人とも知り合いになった時です。

Q 課題は何ですか？

社協の活動について、地域の方にもどう理解して頂くかということです。後継者の育成も課題です。

Q 地域の方へ何かメッセージはありますか？

みんなで助け合って、笑顔で楽しく過ごしましょう。

鈴木隆さんは大古山在住。大古山環境保全の会長を務める。12月1日より民生委員児童委員に就任。小中学校の見守り隊として、毎日立哨と、ながら見守りもされている。

支部社協役員・運営委員

役 職	氏 名	現 職 等
支部長	鈴木 隆	学識経験者、民生委員児童委員
副支部長	稲野邊 耕一	地域交流副センター長
副支部長	潮 田 浩	民生委員児童委員
会 計	湯 浅 修	学識経験者
監 事	仁 平 信 光	第94区長
監 事	湊 一 英	第95区長
広報委員	梅 原 守	民生委員児童委員
広報委員	椎 名 芳 男	民生委員・児童委員第98区長
運営委員	久保田 秀一	第88区長
運営委員	郡 司 澄 夫	第89区長
運営委員	塩 幡 洋 幸	第90区長
運営委員	柴 沼 義 治	第91区長
運営委員	郡 司 昌 浩	第92区長
運営委員	大 島 清	第93区長
運営委員	安 達 廣	第96区長
運営委員	足 立 登	第97区長 地域交流センター長
運営委員	市 村 一 夫	第99区長
運営委員	野 口 晶 三	第100区長
運営委員	宮 崎 守	第110区長、 高齢者クラブ会長
運営委員	稲野邊 直子	民生委員児童委員
運営委員	中 野 治 美	民生委員児童委員
運営委員	長谷川 泉	元支部長
運営委員	佐 藤 正 子	ボランティア役員
運営委員	小 林 早 苗	ボランティア役員
運営委員	鈴 木 幸 子	ボランティア役員
運営委員	五十嵐 茂	高齢者クラブ会長
運営委員	田村 みさ子	学識経験者
運営委員	三 好 幸 一	学識経験者

令和6年度 事業報告

月 日	事 業 名
5月11日	令和6年度総会
7月28日	稲田ふれあい祇園祭り（協力）
9月15日	敬老祝賀会
10月 日	稲田ハイキング（中止）
10月17日	県外研修会（科学博物館、他）
11月 2日	～3日 文化祭（協力）
11月25日	広報紙第23号発行（全戸配布）
12月 1日	そば打ち教室（協力）
1月19日	一人暮らし高齢者訪問
3月14日	学習会（スマホで情報収集）
3月21日	広報紙第24号発行（全戸配布）

令和7年度 事業計画

月	事 業 名
5月	令和7年度総会
7月	稲田ふれあい祇園祭り（協力）
9月	敬老祝賀会
10月	稲田周遊ハイキング（歩く会）
10月	県外研修会
11月	文化祭（協力）
11月	広報紙第25号発行（全戸配布）
12月	そば打ち教室（協力）
1月	一人暮らし高齢者訪問
2月	学習会
3月	広報紙第26号発行（全戸配布）

※（協力）は、社協稲田支部が財政支援を行っている事業です。

令和6年度 決算書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	決算額	備 考
1 会費還元金	329,000	市社協より
2 繰越金	174,151	前年度繰越金
3 広報助成金	32,900	市社協より
4 雑収入	267,041	研修会参加費
合 計	803,092	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	決算額	備 考
1 事務費	92,718	
会議費	32,549	総会、他諸費
備品費	0	
消耗品費	7,897	事務用品等
通信運搬費	1,890	葉書
報償費	1,382	講師謝礼
手当費	49,000	役員手当
2 事業費	592,087	
在宅福祉活動費	38,862	高齢者訪問祝品
地域交流事業費	20,000	ふれあい祭り
センター活動支援費	50,000	地域交流セ支援
広報啓発活動費	90,200	広報紙発行
関係団体助成費	70,000	4団体助成
研修費	323,025	県外研修会
3 予備費	0	
合 計	684,805	

令和7年度 予算書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	予算額	備 考
1 会費還元金	330,000	市社協より
2 繰越金	118,287	前年度繰越金
3 広報助成金	33,000	市社協より
4 雑収入	320,000	研修会参加費
合 計	801,287	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	予算額	備 考
1 事務費	105,000	
会議費	35,000	総会、他諸費
備品費	5,000	書棚等
消耗品費	10,000	事務用品等
通信運搬費	3,000	葉書・切手
報償費	3,000	講師謝礼
手当費	49,000	役員手当
2 事業費	590,000	
在宅福祉活動費	40,000	高齢者訪問祝品
地域交流事業費	30,000	ふれあい祭り
センター活動支援費	30,000	地域交流セ支援
広報啓発活動費	100,000	広報紙発行
関係団体助成費	70,000	4団体助成
研修費	320,000	県外研修会
3 予備費	106,287	
合 計	801,287	

※ 差引残高118,287円は次年度へ繰り越します。